

# 長井都市計画道路の変更について

## ① ラウンドアバウト（環状交差点）とは

### ラウンドアバウトの定義

円形の平面交差点のうち、主に、環道、中央島、エプロン、分離島、流出入口及び横断歩道等の交通安全施設を有し、環道において、車両が時計回りに通行し、かつ進入する車両によりその通行を妨げられない交通が確保できる構造であるもの。

### 導入の背景・現状

- ① 欧米など多くの国で導入。速度の抑制、事故の減少などの効果が報告。
- ② H26改正道路交通法から規定、環状交差点の運用が開始。
- ③ 国土交通省では、『望ましいラウンドアバウトの構造について（H26）』を通知し、導入を推進。
- ④ 全国・本県の状況 国内では、40都道府県に155箇所（R4年度末）。  
宮城県（28箇所）長野県（10箇所）愛知県（12箇所）の順に多い。  
山形県は4箇所：長井市平山、村山市楯岡、酒田市広野2箇所

### 主なメリット

- ・速度の低下、交錯箇所の減少により重大事故が減少
- ・信号のいらぬ交差点として災害停電時にも自立性を発揮
- ・信号維持管理費、待ち時間削減により環境負荷の低減
- ・地域のシンボルとして景観形成等に寄与

### 主なデメリット

- ・歩行者の動線の延伸。
- ・交通量が多い場合には安全性・円滑性の低下

### 長井市における取組

- ・平成28年度ラウンドアバウト社会実験（平山地内）
- ・平成29年度同ラウンドアバウトを本格整備・運用
- ・令和4年度ラウンドアバウトサミットin長井開催
- ・令和5年度ラウンドアバウト講演会in長井開催

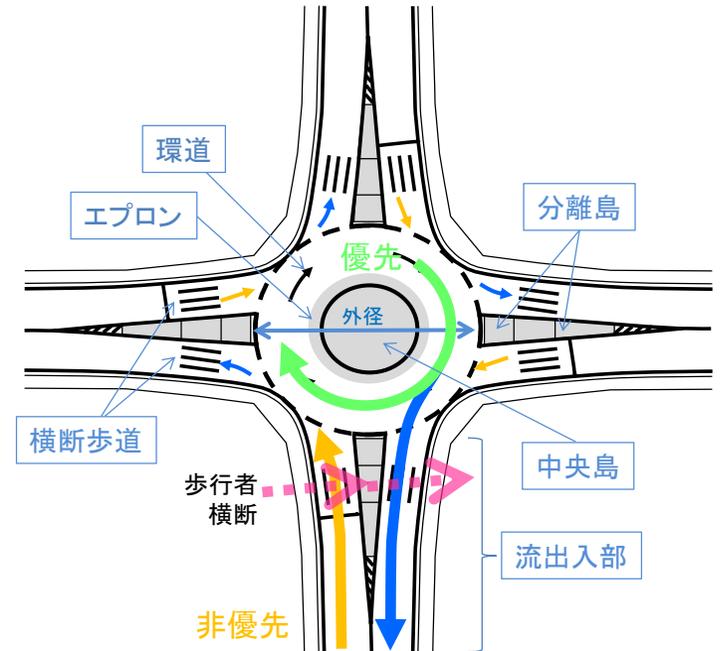


図 ラウンドアバウトの全体構造



長井市平山ラウンドアバウト

# 長井都市計画道路の変更について

## ②ラウンドアバウト導入の目的

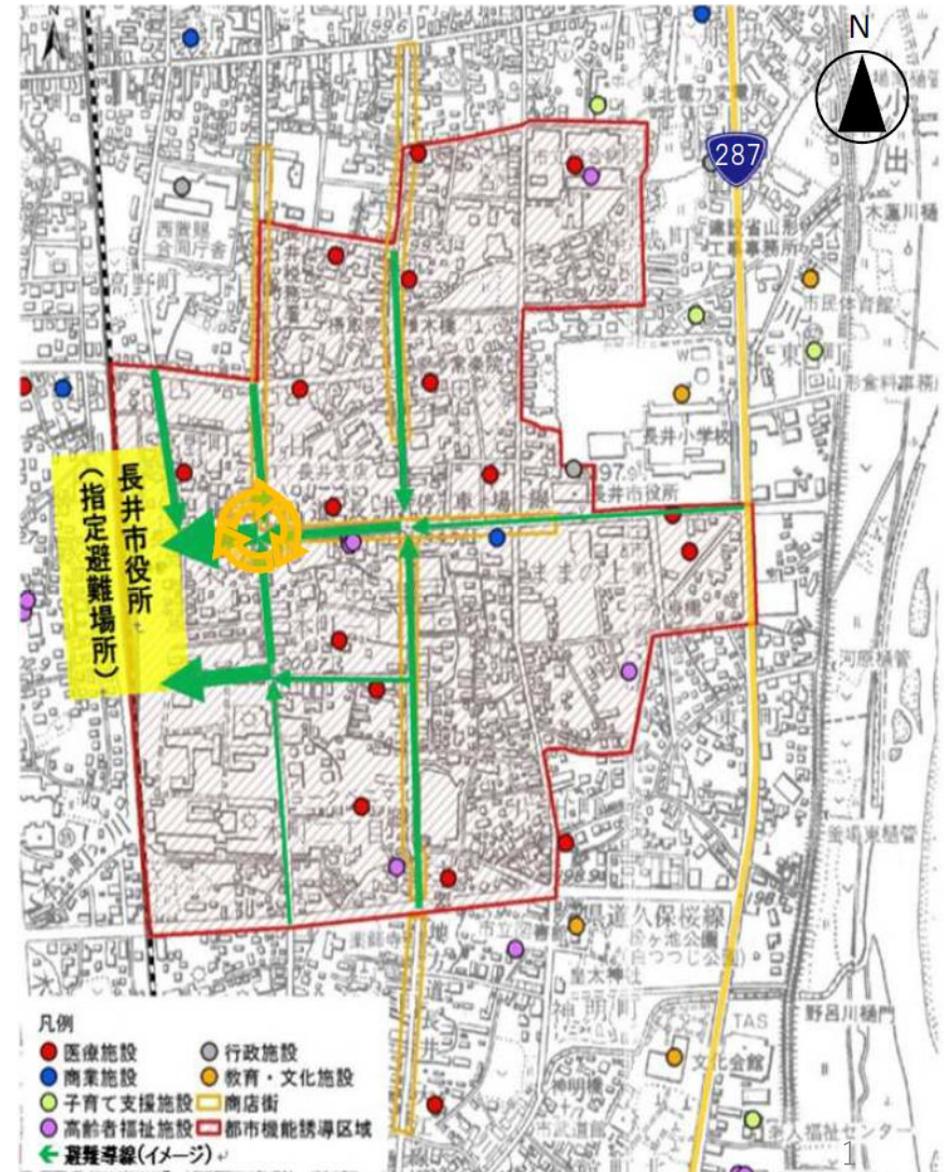
### 長井駅海田線の位置づけ

- ①コンパクトなまちづくりにおいて、駅・市役所・複合施設など重要な都市機能へのアクセス道路となっている
- ②市役所が指定緊急避難所とされ、防災上の主要な避難ルート(第二次緊急輸送道路)となっている
- ③市役所の一番近くに位置する交差点は避難導線としても重要な役割を果たす。

ラウンドアバウト構造を導入することで

街のシンボルとして、長井市のコンパクトで災害に強く、持続可能なまちづくりに寄与

- 重大事故の減少に効果があり災害時にも自立性を発揮することから、安全性の向上、防災力の強化が図られる
- 信号維持管理費、赤信号での車両停止によるアイドリングの縮減により環境負荷の低減につながる。
- 街の中心部のシンボルゲートとしての機能を果たすことが期待される。



# 長井都市計画道路の変更について

## ③変更概要及びスケジュール

### 変更する都市計画道路

- 3・4・1号長井駅海田線
- 3・4・3号四ツ谷宮前線

### 変更概要

- ①セミレーラの通行も考慮したラウンドアバウトの設計基準に基づき、必要となる区域を精査し、交差点部の区域を追加
- ②右折レーンが不要となることに伴い、交差点部の東西区間で、幅員を縮小
- ③その他、市道との接続部等において、隅切りの必要区域を精査し、追加または削除

### 変更に係るスケジュール

- 令和5年12月11日 住民説明会
- 令和6年 1月16日 県都市計画審議会 幹事会
- 1月19日～2月16日 市への意見照会**
- 1月26日～2月9日 案の公告縦覧
- 3月上旬 県都市計画審議会
- 3月下旬 決定告示・縦覧

